

# 鳥取県公報

毎週火曜日及び  
金曜日発行  
(日曜日は、  
祭日を除く)  
の日に  
おきか  
るものと  
する

(第三種郵便物認可) 第3号 (号外)

鳥取県公報 大欄日 昭和50年2月13日

## 目次

◆ 公 告 鳥取県警察官採用試験の実施

## 公 告

昭和49年度第2回鳥取県警察官採用試験について、次のとおり公告する。

昭和50年2月13日

鳥取県人事委員会委員長 森 本、繁 蔵

この試験は、鳥取県警察本部又は鳥取県内の警察署に勤務する鳥取県警察官(巡査)の採用試験です。

### 1 採用予定人員及び職務内容

- (1) 採用予定人員 約25名
- (2) 職務内容  
個人の生命、身体及び財産の保護に任じ、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締りその他公共の安全と秩序の維持に当

たります。

### 2 受験資格

- (1) 学歴等  
学歴は問いませんが、高等学校卒業程度の学力を必要とします。
- (2) 年齢及び性別  
昭和22年4月2日から昭和32年4月1日までに生まれた男子に限ります。

### (3) 受験できない者

- 次のアからオまでのいずれかに該当する者は、受験できません。
- ア 日本の国籍を有しない者
- イ 禁治産者及び準禁治産者
- ウ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- エ 鳥取県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- オ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

### 3 第1次試験

#### (1) 方法

種 目	試 験 の 内 容
教養試験	一般的知識及び知能(国語・社会・数学・理科・英語等の知識及び文章理解・判断推理・数的処理・資料解釈等の能力)について、択一式により行います。

作文試験	警察官として必要な文章による表現能力について行います。
適性検査	警察官の職務遂行上必要な素質及び適性について行います。
身体検査	警察官の職務遂行上必要な身体を有するかどうかについて行います。なお、検査には、次表の基準があります。

(2) 身体検査の基準

検査項目	基 準
身長	160cm以上であること。
体重	47kg以上であること。
胸 囲	78cm以上であること。
視 力	両眼とも裸眼視力が0.6以上であること、又は裸眼視力が0.1以上できょう正視力が1.0以上であること。
弁色力	完全であること。
聴 力	完全であること。
その他	身体に奇形その他の異常がないこと。

(3) 試験日時及び試験場

試 験 日 時	試 験 地	試 験 場

昭和50年3月9日(日)		鳥取市栗谷町72
受付	8時10分から8時35分まで	鳥取県職員会館
試験開始	8時45分から	米子市錦町1丁目103
		鳥取県立米子西高等学校

(4) 第1次試験合格者の発表

昭和50年3月中旬(予定)に鳥取県庁1階掲示板に掲示するほか、合格者に通知します。

4 第2次試験

第2次試験は、第1次試験合格者に対して行います。

(1) 方法

ア 口述試験 主として人物について、個別面接により行います。  
 イ 身体精密検査 胸部疾患、性病等の伝染性疾患その他の疾患の有無について行います。

ウ 体力検査 警察官としての職務遂行上必要な体力を有するかどうかについて行います。

(2) 試験日時及び試験場

昭和50年3月下旬に鳥取市において行いますが、詳細については、第1次試験合格者に通知します。

5 身上調査

受験資格の有無、申込書記載事項の真否その他について行います。

6 最終合格者の発表

昭和50年4月上旬に鳥取県庁1階掲示板に掲示するほか、合格者に通知します。

7 合格から採用まで

- (1) 合格者は、採用候補者名簿に記載されたうえ、鳥取県警察本部長からの請求に応じて成績順に提示され、そのうちから採用者が決定されます。なお、採用は昭和50年4月の予定です。
  - (2) 採用決定後は、鳥取県巡査に任命され、巡査見習生として鳥取県警察学校に入校し、1年間(大学卒は、6月間)初任教育を受け、終了後は巡査としてそれぞれ勤務地に配置されます。
  - (3) 給与は、原則として下表のとおり支給されますが、学校卒業後一定の経験年数がある者は、下表の額に一定額が加算されます。
- なお、給与は、その後は定期に昇給します。

学 歴	入校時の給料月額
大 学 卒	79,400円
短 大 卒	73,600円
高 校 卒	68,400円

- また、上記給与のほかに諸手当として、扶養手当(配偶者5,000円、配偶者以外の扶養親族のうち2人まで1,500円(配偶者のいない職員の扶養親族のうち1人3,500円)、その他の者400円)、期末・勤続手当(1年間に給料月額等の約5.2月分)、運動手当、住居手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当等がそれぞれの条件に応じて支給されます。そのほか、制服その他必要な被服も貸与されます。
- (4) 採用後は、だれでも実力次第で管区警察学校又は警察大学校に入校して、幹部としての教育を受ける機会を与えられ、上級の警官へ昇進する道が開かれています。

- (5) 柔道又は剣道の有段者は、現職警官に対する柔道又は剣道の指導を担当する術科指導員となる道が開かれています。

8 受験手続及び受付期間

- (1) 受験申込書の請求  
 受験申込書は、鳥取県人事委員会事務局、鳥取県警察本部警務課又は鳥取県内の各警察署、警察官派出所若しくは警察官駐在所で交付します。郵便で申込書を請求する際は、封筒の表に「警察官申込請求」と朱書し、あて先を明記して25円切手をはった返信用封筒を必ず同封してください。
- (2) 申込方法  
 受験申込書に必要事項を記入のうえ押印し、鳥取県人事委員会事務局に提出してください。郵便による場合は、封筒の表に「警察官受験申込」と朱書してください。  
 なお、受験票は後日郵送しますので、受験票の「郵便はがき」に住所、氏名及び郵便番号を記入し、10切手をはってください。
- (3) 受付期間  
 昭和50年2月15日(土)から昭和50年3月3日(月)まで受け付けます。郵便による場合は、3月3日(月)までの消印のあるもの限り受け付けます。ただし、特別の事情のある者については、第1次試験当日各試験場において受け付けます。
- (4) その他  
 申込書の記載事項に不備のある場合は、申込書を送送することがありますから、受験手続には十分注意してください。このために生じた申込みの遅延については、一切責任を負いません。

9 その他

この試験の手続その他については、鳥取県人事委員会に照会してください。

なお、郵便で照会する場合は、あて先を明記して25円切手をはった返信用封筒を必ず同封してください。

昭和四年四月十五日第三種郵便物認可

発行所 鳥取県鳥取市東町一丁目 鳥

取 県

〔定価一部一箇月三百円(送料を含む。)]